

様式第 1 号

埼玉県業務委託一般競争入札（事後審査型）公告

道路環境整備工事（出会いの丘等管理業務委託）（長期継続契約）について、下記のとおり一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。）第167条の6の規定に基づき公告する。なお、本公告に記載のない事項については埼玉県業務委託一般競争入札（事後審査型）執行要綱の規定によるものとする。

令和 8 年 9 月 1 6 日

埼玉県秩父県土整備事務所長 田島 清志

記

1 入札対象業務	
(1) 業務名	道路環境整備工事（出会いの丘等管理業務委託）（長期継続契約）
(2) 業務箇所	一般国道 1 4 0 号／秩父市大滝地内
(3) 履行期間	令和 8 年 1 1 月 1 日から令和 1 1 年 1 0 月 3 1 日まで ただし、翌年度以降において、歳入歳出予算の当該契約の金額について減額又は削除があった場合、当該契約は解除する。
(4) 設計金額	入札執行後に公表する。
(5) 業務概要	仕様書のとおり。
(6) その他	本業務の契約は、立会人型電子契約サービスを利用した電子契約（契約書を電子データで作成し、押印に代わる電子署名と電磁的記録が改変されていないことが確認できるタイムスタンプを付与するもの）による締結を予定する（受注者が電子契約に同意しない場合は、紙の契約書により締結する）。締結には、発注者が指定した電子契約事業者の立会人型電子契約サービスを利用し、受注者は利用に係る費用負担が生じないものとする。なお、受注者は、契約締結に利用するメールアドレスを用意する必要がある。
2 落札者の決定方法	本件入札は、埼玉県業務委託一般競争入札（事後審査型）執行要綱（以下、「執行要綱」という。）に基づき、以下のとおり落札者を決定する。 (1) 価格競争方式により落札候補者を決定する。 (2) 落札候補者について、入札参加資格を満たしているか否かの審査を行う。 ただし、当該落札候補者の入札参加資格の有無を決定する前から、必要に応じて当該落札候補者以外の者に対し入札参加資格審査に必要な資料の提出を依頼する場合がある。 (3) 落札候補者について審査の結果、入札参加資格を満たすことが確認されたら、落札者として決定する。
3 入札手続の方法	(1) 本件入札は、埼玉県物品調達等電子入札運用基準に基づき、資料の提出、届出及び入札を埼玉県電子入札共同システム（以下「電子入札システム」という。）により行う。ただし、資料等の提出方法に別途定めがある場合は、当該方法による。 (2) 代表者等の変更（改姓、改名含む）により、電子証明書に記載された名義人氏名等*1と異なることとなる場合、変更日*2以

	降は、前名義人氏名等の電子証明書は、絶対に使用しないこと。 *1「名義人氏名等」とは、電子証明書に記載されている以下の事項 ○名義人氏名 - 物品等競争入札参加資格申請時の契約者（又は法人代表者） ○名義人所属の会社本店住所（登記している場合） ○名義人所属の会社名（登記している場合） ○名義人住民票記載住所（電子証明書に記載のある場合） *2「変更日」とは、 ○名義人・会社名・本店住所の変更は、取締役会等で指定された日 ○名義人の改姓や改名・住民票記載住所の変更は、市区町村役場への届出日
4 仕様書等	仕様書等は、電子入札システムのうち、入札情報公開システムにより掲載する。
5 競争参加資格確認申請書の提出	令和 8 年 9 月 1 6 日（水） 8 時 3 0 分から 令和 8 年 1 0 月 6 日（火） 1 6 時 0 0 分まで この入札は、入札参加資格を開札後に審査する「事後審査型」である。 入札参加を希望する者は、上に示す期間内に電子入札システムの競争参加資格確認申請書（以下「確認申請書」という。）のみを提出すること。 開札後、落札候補者は、一般競争入札参加資格等確認申請書（執行要綱様式第 4 号）に一般競争入札参加資格等確認資料（執行要綱様式第 5 号。以下「確認資料」という。）及びその他必要な資料を添えて、発注者の指示に従って提出すること。
6 仕様書等に関する質問	令和 8 年 9 月 1 6 日（水） 8 時 3 0 分から 令和 8 年 9 月 3 0 日（水） 1 6 時 0 0 分まで 仕様書等に関して質問がある場合は、上に示す期間内に、質問を電子入札システムにより提出すること。 システムによる質問の題名、質問事項及び添付資料には、特定の企業名や個人名を記入しないこと。 添付資料は、発注者から提供した様式を使用して作成すること。
7 質問に対する回答	令和 8 年 1 0 月 5 日（月） 1 6 時 0 0 分 質問に対する回答は、上に示す日時までに電子入札システム上で掲示する。 入札参加者は、質問の提出の有無にかかわらず、電子入札システムに掲載する質問に対する回答の全ての内容を必ず確認した上で、入札に参加すること。なお、質問に対する回答の全ての内容は、全ての入札参加者に適用する。 また、入札参加者から質問がない場合でも「質問に対する回答」を利用して発注者から入札参加者へお知らせを掲示することがある。
8 入札書の提出期間	(1) 提出方法 入札書の提出期間に有効な物品等競争入札参加資格者名簿の代表者又は代理人の名前で電子入札システム利用可能な電子証明書を取得し電子入札システムの利用者登録を完了した者が当該名義の電子証明書を使用して入札書を提出すること。 ただし、埼玉県物品調達等電子入札運用基準 9「紙入札について」の承認を得た者はこの限りでない。 (2) 提出期間

	令和 8 年 10 月 7 日 (水) 8 時 30 分から 令和 8 年 10 月 9 日 (金) 16 時 00 分まで	
9 開札日時	令和 8 年 10 月 13 日 (火) 13 時 10 分	
10 入札に参加できる者の形態	単体企業	
11 入札に参加する者に必要な資格		
(1) 資格者名簿への登録	登録業種①	業種区分：建築物管理
		営業品目（大分類）：管理業務 営業品目（小分類）：清掃
		格付：A 等級
	登録業種②	業種区分：建築物管理
		営業品目（大分類）：点検・検査業務 営業品目（小分類）：ボイラー
		格付：A 等級
	令和 7・8 年度物品等競争入札参加資格者名簿（以下「資格者名簿」という。）に、上に示す全ての登録業種で登録されている者であること。ただし、物品等競争入札参加資格審査結果通知書において資格の有効期間の始期が公告日以前である者に限る。なお、下欄「その他の参加資格」ウただし書きに該当する者にあつては、会社更生法に基づく更生計画、又は民事再生法に基づく再生計画の認可を受けていること。	
(2) 所在地区分及び企業区分	管轄内中小企業	
	資格者名簿の「所在地区分」及び「企業区分」に、上に示す内容で登録されている者であること。	
(3) 業務を行うための資格	—	
(4) 資格を有する技術者の数	—	
(5) 業務実績	埼玉県内における 1 年以上の建築物の管理を行う業務	
	契約の締結日にかかわらず平成 28 年 4 月 1 日以降公告日までの間に、国（公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令（平成 13 年政令第 34 号）第 1 条に規定する法人を含む）又は地方公共団体（地方自治法施行令第 140 条の 7 に定める監査の対象となる埼玉県が出資する法人を含む）との業務委託契約により、上に示す業務を履行した実績を有すること。 上記の業務実績は、資格者名簿に登録された入札参加者の「契約者の事業所」以外の本店又は事業所の実績も認める。	
(6) 配置予定の業務責任者	消防法、危険物の規則に関する法令等に基づき、仕様書に記載された危険物施設の危険物取扱者となる資格を有する者を本業務の「業務責任者（危険物施設保守点検担当）」として配置できること。	
(7) その他の参加資格	ア 施行令第 167 条の 4 の規定に該当しない者であること。 イ 埼玉県財務規則（昭和 39 年埼玉県規則第 18 号）（以下、「財務規則」という。）第 91 条の規定により埼玉県の一般競争入札に参加させないこととされた者でないこと。 ウ 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者でないこと、又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。ただし、会社更生法に基づく更生計画、又は民事再生法に基づく再生計画の認可を受けている者はこの限りではない。 エ 本件入札の公告日から落札決定までの期間に、埼玉県の契約に係る入札参加停止等の措置要綱に基づく入札参加停止の措置	

	を受けていない者であること。 オ 本件入札の公告日から落札決定までの期間に、埼玉県の契約に係る暴力団排除措置要綱に基づく入札参加除外等の措置を受けていない者であること。 カ 電子入札システムで利用可能な電子証明書を取得し、電子入札システムの利用者登録が完了していること。
12 最低制限価格	設定する。
13 入札保証金	財務規則第93条による ただし、電子入札システムにより入札する場合（紙入札方式参加申請書を提出し、やむを得ない理由があるとして、発注者から承認を受けた場合も含む。）において、発注者、種類、規模、時期、回数を問わず、資格者名簿に登録された入札参加者の「契約者の商号又は名称」で締結した契約を誠実に履行した実績を有する場合には、契約を締結しないこととなるおそれがないと認め、原則として入札保証金を免除する。 「契約者の商号又は名称」が本店以外の場合で、かつ、11（5）を満たす履行実績が「契約者の商号又は名称」で締結した契約以外のものである場合は、「契約者の商号又は名称」で締結した契約を誠実に履行した実績に係る該当契約書の写し及び完了検査結果通知等、履行を証明するものの写しを、確認申請書に添付すること。 「契約者の商号又は名称」における契約を誠実に履行した実績を有していない場合は、落札候補者となったとき以降に、発注者の指示に従って、入札保証金を納付すること。
14 契約保証金	（1） 落札者は契約金額の10分の1以上（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げた金額）の契約保証金（入札保証金を納付したときは、その差額）を納付しなければならない。 （2） 次に掲げる有価証券等を担保として提供することにより、契約保証金の納付に代えることができる。なお、その価値は、債権金額（ウにあっては、保証金額）と同額とする。 ア 利付国債 イ 埼玉県債 ウ 銀行等（出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和29年法律第195号）第3条の金融機関をいう。）又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項の保証事業会社をいう。）の保証 （3） 次のいずれかに該当する者については、契約保証金の納付を免除する。 ア 保険会社との間に埼玉県を被保険者とする履行保証保険契約を締結した者 イ 保険会社、銀行、農林中央金庫その他知事が指定する金融機関と埼玉県を債権者とする工事履行保証契約を締結した者 ウ 国又は地方公共団体と、種類及び金額（長期継続契約については、契約金額を契約年数で除した1年間に相当する契約金額）をほぼ同等以上とする業務委託契約（この項において、資格者名簿に登録された入札参加者の「契約者の事業所」が本店以外の場合、は、「契約者の事業所」における契約に限る。）を、当該年度の前々年度の4月1日以降に2回以上全て誠実に履行した者で、落札候補者となったときに提出する一般競

	争入札参加資格等確認申請書に該当業務の委託契約書の写し及び委託業務完了検査結果通知等、履行を証明するものの写しを添付し、契約保証金の納付の免除が認められた者 (4) 契約保証金は、契約の履行後、契約者から請求書の提出を受けることにより、還付する。ただし、契約者がその責に帰すべき理由により契約上の義務を履行しないときの契約保証金は還付しない。
15 支払条件	
(1) 前金払	しない。
(2) 部分払	しない。
(3) 各会計年度の支払限度額	令和 8 年度 業務委託料（委託金額）の概ね 1 3 % 令和 9 年度 業務委託料（委託金額）の概ね 3 3 % 令和 1 0 年度 業務委託料（委託金額）の概ね 3 3 % 令和 1 1 年度 業務委託料（委託金額）の概ね 2 1 % 表示した割合は、設計金額に対する割合であるため、契約時の割合は落札金額により変動する。
16 業務説明会	開催しない。
17 入札に関する注意事項	
(1) 入札の執行	ア 電子入札システム上で競争参加資格確認申請書受付票を受領した者であっても、開札日時の時点において参加資格がない者は、入札に参加できない。 イ 1 者入札であっても入札を執行する。
(2) 入札書に記載する金額	落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 1 00 分の 10 に相当する額を加算した額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 1 10 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。
(3) 提出書類	ア 発注者が様式を指定した入札金額見積内訳書（必要事項を記入したもの）を電子入札システムによる初度入札の入札書提出の際に添付すること。 イ 落札者が免税事業者の場合、落札決定後、免税事業者届出書を提出すること。
(4) 入札回数	ア 再度入札は 3 回までとする。この場合は、電子入札システム上で案内する。ただし、各回の再度入札の状況により、それ以降の再度入札を執行しない場合がある。 イ 初度入札に参加しない者は、再度入札に参加することができない。 ウ 再度入札に参加しない者は、それ以降の再度入札に参加することができない。
(5) 入札の辞退	埼玉県物品調達等電子入札運用基準によるものとする。
(6) 独占禁止法など関係法令の遵守	入札に当たっては、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号）等に違反する行為を行ってはならない。
(7) 電子くじ	落札候補者とすべき同額の入札をした者が 2 者以上いるときは、電子入札システムの電子くじにより、落札候補者を決定する。
(8) 入札の無効	次のいずれかに該当する入札は無効とする。 ア 参加資格審査の結果、入札に参加する資格を満たしていない者がした入札

	イ 参加資格審査のために知事又は発注機関の長が行う指示に落札候補者が従わないとき、当該落札候補者のした入札 ウ 所定の入札保証金を納付しない者がした入札又は納付した入札保証金の額が所定の率による額に達しない者がした入札 エ 電子証明書を不正に使用した者がした入札 オ 郵便（発注者から紙入札の承認を得て郵送した場合を除く）、電報、電話及びファクシミリにより入札書を提出した者がした入札 カ 不備な入札金額見積内訳書を提出した者がした入札 キ 談合その他不正行為があったと認められる入札 ク 虚偽の一般競争入札参加資格等確認申請書を提出した者がした入札 ケ 入札後に辞退を申し出て、その申し出を受理された者がした入札 コ やむを得ず紙入札とした場合で、次に掲げる入札をした者がした入札 （ア） 記載すべき事項の記入のないもの、又は記入した事項が明らかでないもの （イ） 代理人で委任状を提出しない者がしたもの （ウ） 他人の代理を兼ねた者がしたもの （エ） 2以上の入札書を提出した者がしたもの、又は2以上の者の代理をした者がしたもの サ その他公告に示す事項に反した者がした入札
18 その他	（1） 埼玉県建設工事請負等競争入札参加者心得を熟知の上、埼玉県物品調達等電子入札運用基準に基づき入札に参加すること。 （2） 提出された一般競争入札参加資格等確認申請書及び確認書類は返却しない。 （3） 落札者は、確認資料に記載した配置予定の業務責任者を当該業務に配置すること。 （4） 入札参加資格不適格通知書を受理した者が、入札参加資格を満たさないとされたことに不服があるときは、執行要綱第25条第1項及び第2項の規定に基づき、当該通知の日の翌日から起算して原則として7日（埼玉県の休日定める条例（平成元年埼玉県条例第3号）第1条に規定する県の休日を含まない。）以内に、知事又は発注機関の長に対して入札参加資格を満たさないとされた理由について、苦情申出書により説明を求めることができる。なお、苦情の申出は、当該入札手続きの執行を妨げないものとする。 （5） 入札参加者は、（4）に定めること以外に、入札後、この公告、仕様書等（質問回答書を含む）、現場等についての不明を理由として、異議を申し立てることはできない。 （6） 落札者との契約は、別添契約書（案）に基づく契約となるので、内容を熟知して入札に参加すること。
19 この公告に関する問い合わせ先	埼玉県秩父市下影森1002-1 埼玉県秩父県土整備事務所 道路環境担当 電話 0494-22-3668 メールアドレス t2237159@pref.saitama.lg.jp